



きれいな学校 輝く笑顔 ～J(授業) A(挨拶) S(清掃) MI(身だしなみ) N(仲間)～

大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関282

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

「大久保学園」の取組

校長 海江田 なぎさ

1月も、保護者・地域の皆様には、様々な御協力をいただき、ありがとうございました。1月は、感染症拡大防止のため1学級で3日間の学級閉鎖を実施しましたが、その後、新たな広がりなく教育活動を行うことができました。3年生は、私立高校受験で当日体調を崩し欠席した生徒が数人おり、追検査等の対応となりましたが、大きな不測の対応はありませんでした。2年生は、館岩少年自然の家の宿泊学習を、現地での大きなけがや体調不良なく実施することができました。これも、御家庭の御協力のおかげと感謝しております。

さて、「大久保学園」を御存じでしょうか。今から10年ほど前に始まった小中連携の取組を表す名称です。その当時、学校の課題は「基礎学力向上」でした。国の方針を読み解いたり、他県ですでに効果を上げている学校の視察を行ったりして研究を進めた結果、主に次の取組が有効であることがわかりました。

- 学力と生活習慣には密接な関係があり、生活習慣の向上が、学力向上に有効であること
- 子どもたちに身に付けさせたい力を小学校と中学校が共有して教育活動を行うことが、学力向上に有効であること

さいたま市では、同時期から市立学校全校で「さいたま市小・中一貫教育」を推進していますが、大久保小学校、神田小学校と連携した「大久保学園」の取組は特に評価され、平成29年度には、大久保学園研究推進委員会が文部科学省の優秀組織として表彰されました。

その後、学校を取り巻く社会状況の変化に応じて、「大久保学園」の取組も変化させていきましたが、当時の取組で現在も大久保中学校が行っている学力向上のための取組には、次のものがあります（一例ですが・・・）。

- ・年3回の職員の小中合同研修会で3校共通の課題を話し合い、課題解決のための具体策を決め、実施する取組。
- ・自ら考え行動する力を育む「ノーチャイム」の取組
- ・新聞を活用し、情報を読み解く力を育み、社会への関心を高める「NIE」の取組
- ・生活習慣・読書週間の定着を目指し、中学生が小学校に赴いて「歯磨き隊」「読み聞かせ隊」の授業を実施する取組。

これらに加え、小中合同あいさつ運動や浦和北高校生徒会との交流が、コミュニティスクール（学校運営協議会）の熟議から生まれました。また、埼玉大学の先生によるプログラミングの授業や教職大学院生の受け入れなどの連携も行っています。これからも、社会の状況に応じて変化させながら、「大久保学園」の取組を進化させていきます。

2月も保護者・地域の皆様の御理解・御協力を賜りながら、充実した教育活動を目指してまいります。今月も、どうぞよろしくお願いいたします。